



高木瀬小学校 学校だより

第10号
R7.11.21発行
文責:橋口

全日本音楽教育研究会全国大会佐賀大会、大成功

10月23日(木)に本校において標記大会の研究授業公開を1年2組(授業者:下平萌菜)、6年1組(授業者:高田穂々乃)にて行いました。「育てよう 音楽と豊かに関わる子ども」の大会研究主題にあった生き生きとした授業の様子が公開され、授業後の研究会においては、全国からお見えになった参加者や指導助言の津田 正之 先生(国立音楽大学 教授)から、たくさん賞賛の言葉をいただきました。

本大会の開催にあたって、23日は特別校時を組み下校時刻を変更しました。学校サポーターの皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

PTA 主催「秋フェス 大成功！」



10月25日(土)に、本校 PTA 主催の「秋フェス」が開催されました。これは、それまで行われていたバザーにかわり令和5年度から始まった新しい取り組みです。

雨混じりの曇天ではありましたが、たくさん子ども達、学校サポーターの皆様が魔法使いやお姫様など思い思いの仮装で集まってくれました。「子ども達の笑顔のために」がコンセプトの「秋フェス」、一年一年工夫や改善がなされ、今年は新しく、「紙飛行機大会」や父親委員の「ミニゲーム」が初お目見えで、大いに賑わいました。終了後、帰っていく子ども達に「楽しかった?」と尋ねたら、100%の割合で「楽しかった」という回答が帰ってきましたし、学校サポーターの皆様も笑顔で秋の一日を楽しまれているようでした。役員の皆様、本当にありがとうございました。

※まちづくり協議会の皆様には「竹細工プランター」のブースを出していただきました。まち協の皆さんに習いながら、親子でのこぎり等の工具を使って可愛いプランナーを製作され、最後は花苗も植えてお持ち帰りでした。

※詳しい報告はPTA から「せんだん通信」が配布済みです。HP にもあげていますので、そちらをぜひご覧ください。



子ども達に大人気だった
バイキンマンは、主幹教諭
の池田先生。
「怖い」と泣いてしまった
子もいましたが、実は、とっ
ても優しい先生です。



最後のイベントは、ビンゴ大会です。
司会もプレゼント渡しも PTA 役員の
皆さん。大変、スムーズな運営で、
「やったー、ビンゴ!」と体育館いっば
いに響き渡る大歓声。大盛り上がり
でした。

5年生、北山の自然を大いに楽しむ(宿泊自然教室に行ってきました)



10月29日(水)~30日(木)に行きました。やはり高度があるだけあって、朝晩はかなり冷えましたが、日中は気持ちのよい小春日和で、山の大自然を楽しむには恰好の時期でした。一日目のフィールドビンゴ、クラスマッチ、キャンプファイヤー、2日目の飯盒炊飯。どれも学校を離れた大自然の中だからこそその体験ばかりで、日頃、きつぎつの密集した学校生活を送っている子ども達は空間の広さだけでも非日常を感じているようでした。驚いたのは食欲です。夜ご飯も朝ごはんもどんぶり飯でし

たが、お代わりする子ども達が続出で、お代わり用のご飯は途中でなくなっていました。また、寝起きも良く、朝一番の「朝の集い」での表情も爽やかな子どもが多かったです。

ゲームも YouTube もテレビもお菓子もない2日間、身体をいっぱい使った活動で人間本来の感覚が呼び戻されたのではないかと思います。子ども達には「一日、二日、集団行動をしたからといって、協調性が身に付くとか、規則正しい生活ができるなんてことはない。だけれども、この『お腹がすく』『すっきりとした目覚め』などの感覚は覚えておいてほしい」と伝えました。貴重な2日間を過ごすことができました。



朝の集いの様子

学校目標「全児童に未来社会をしなやかに生き抜く力を育む」

大きな愛に包まれた「ふれあいのつどい」



10月31日(金)に民生児童委員協議会主催で「ふれあいのつどい」が開催されました。今年も福祉を学んでいる4年生が各学級からの出し物(劇や〇×クイズ等)と学年全体による「ソーラン節」を披露しました。

このふれあいのつどいは、4年生にとって特別な行事です。自分たちが求められること、自分たちに期待されることに喜びを感じ、おいでくださるお年寄りが楽しんでくださるよう、学級で時間をかけて準備を進めます。やる気があるからこそ、それぞれに理想があって、衝突もします。4年生担任は、子ども達の思い

や願いを大事にしながら学習を進めていました。

本番当日の張り切りようは、もうすごかったです。体育館入口で出迎え、自分から靴をビニール袋に入れ、手をとって椅子まで案内する姿がありました。出し物が進むにつれ、隣に座られているお年寄りの目を見て会話をするようになり、ビンゴゲームでは説明をしたり、景品を取りに行ったり、自然なやり取りが見られました。

出番の後には「良かったよ」「おもしろかったあ」「上手やったね」と声をかけていただき、4年生はとても満足そうな表情をしていました。子ども達がより一段と成長していることを実感した時間でした。

このような機会をいただき、ありがとうございました。



地震・火災避難訓練を実施しました



7日(金)に佐賀消防署から3名の消防士の皆さんをお迎えして、地震・火災避難訓練を開催しました。開催日時は事前にお知らせをしていましたが、どこから出火するのかは管理職と担当以外には伏せて実施しました。教職員自身が火元から離れる避難経路を選択し、判断すること、混み具合を見て冷静さに子ども達を誘導することなどの訓練のためです。

日頃から「命・人権・法律」に関することでふざけや冗談は許さないと話しているので、子ども達のほとんどが真剣に避難をすることができました。消防署の方も子ども達の避難の様子をお褒めくださいました。

しかし、私は全体に厳しく注意をしました。

○火事の際、被害者の多くは焼死ではなく、煙死である。ハンカチで鼻と口を覆い、姿勢を低くして逃げたのか? 忘れた人は洋服を使ってでも煙を吸わないようにしたのか?

○本校では階段等での将棋倒しによる圧死が最も心配。ふざけたり、ぼんやりしたりしている人が一人でもいたら、将棋倒しが起こりかねない。その人の影響を受けて亡くなってしまうのは他の人になる。自分事として全員が訓練に臨まないと危機は回避できない。

消防署の方からは初期消火の重要性や状況の共有方法について指導をいただきました。大事な子ども達をお預かりしています。指導や反省を基に、さらに安心・安全な学校を目指し改善を図ります。



地震の放送を受けた直後



少年の主張大会(11月8日)が開催されました

【発表者】小柳 にこ さん「書道が私に教えてくれたもの」

能勢 結愛 さん「Everyone with smile」

原田 望羽 さん「ぽかぽか言葉が作る明るい社会」

福市 つむぎ さん「便利なプラスチックの裏の顔」

4名とも自分自身の体験や自分の心にひっかかった題材を深く見つめており、聞き応えのあるものばかりでした。発表の様子も堂々としており、感心しました。高木瀬校区を代表して能勢さんが市の大会に出場します。